

2025 年 11 月 4 日

委 員 各 位

一般社団法人日本鉄鋼連盟
標準化センター事務局
鋼材規格三者委員会
委員長 榎 学

2025 年度第 2 回鋼材規格三者委員会【書面審議】開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、首記の件につきまして下記の通り開催（書面審議）致しますので、ご多忙中恐縮とは存じますが、ご検討いただけますようお願い申し上げます。

－ 記 －

1. 審議期間 2025 年 11 月 4 日（火） ～ 2025 年 12 月 4 日（木）

（議決予定日：2025 年 12 月 5 日（金））

2. 議題

1. 2026 年度制改廃予定 JIS の事前調査表（資料 1）
2. 令和 7 年度 JIS の定期見直し調査票（資料 2）

2026 年度の鋼材規格三者委員会では、計 35 規格（制定 9、改正 23、廃止 3 規格）をご審議頂く予定です。それらの規格について、審議の前に事前調査表を提出することが求められております。また、2026 年度に直近の制改正から 5 年が経過する計 50 規格については、対応方針を記載した定期見直し調査票の提出が求められております。事前調査表（資料 1）及び定期見直し調査票（資料 2）を委員会システムにアップロードしますので、書面審議をよろしくお願い申し上げます。

可否のご回答は、2025 年 12 月 4 日（木）迄に、委員会システムにてご回答ください。
期限迄にご回答なき場合は、賛成のご回答があったものとして、お取り扱い致します。

本件に関するお問い合わせは、標準化センター事務局 松本・神戸までお願い致します。

(TEL 03-3669-4826 / FAX 03-3669-0226 / std1@jjsf.or.jp)

以上

<資料 1（事前調査表）対象 JIS>

制定：9 規格

No.	JIS 番号	JIS 規格名称
1	G 0598	めっき鋼板及び鋼帯のめっき付着量試験方法
2	G 1213-1	鉄及び鋼－マンガン定量方法－第 1 部：ペルオキシ二硫酸アンモニウム酸化しゅう酸ナトリウム・過マンガン酸カリウム逆滴定法
3	G 1213-2	鉄及び鋼－マンガン定量方法－第 2 部：過マンガン酸吸光光度法
4	G 1224-1	鉄及び鋼－アルミニウム定量方法－第 1 部：8-キノリノール沈殿分離臭素酸カリウム・チオ硫酸ナトリウム逆滴定法
5	G 1224-2	鉄及び鋼－アルミニウム定量方法－第 2 部：鉄分離クロムアズロール S 吸光光度法
6	G 1227-1	鉄及び鋼－ほう素定量方法－第 1 部：ほう酸トリメチル蒸留分離水酸化ナトリウム滴定法
7	G 1227-2	鉄及び鋼－ほう素定量方法－第 2 部：吸光光度法
8	G 3196	溶融めっき鋼板及び鋼帯の形状，寸法，質量及びその許容差
9	G 3197	塗装溶融めっき鋼板及び鋼帯の形状，寸法，質量及びその許容差

改正：23 規格

No.	JIS 番号	JIS 規格名称
10	G 0551	鋼－結晶粒度の顕微鏡試験方法
11	G 0583	鋼管の自動渦電流探傷検査方法
12	G 3124	中・常温圧力容器用高強度鋼鋼板
13	G 3126	低温圧力容器用炭素鋼鋼板
14	G 3138	建築構造用圧延棒鋼
15	G 3141	冷間圧延鋼板及び鋼帯
16	G 3199	鋼板，平鋼及び形鋼の厚さ方向特性
17	G 3303	ぶりき及びぶりき原板
18	G 3313	電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
19	G 3315	ティンフリースチール
20	G 3350	一般構造用軽量形鋼
21	G 3457	配管用アーク溶接炭素鋼鋼管
22	G 3458	配管用合金鋼鋼管
23	G 3459	配管用ステンレス鋼鋼管
24	G 3465	試すい用継目無鋼管
25	G 3468	配管用溶接大径ステンレス鋼鋼管
26	G 3478	一般機械構造用炭素鋼鋼管
27	G 3479	焼入性を保証した機械構造用鋼管
28	G 3503	被覆アーク溶接棒心線用線材
29	G 3507-1	冷間圧造用炭素鋼－第 1 部：線材
30	G 3508-1	冷間圧造用ボロン鋼－第 1 部：線材
31	G 3509-1	冷間圧造用合金鋼－第 1 部：線材

No.	JIS 番号	JIS 規格名称
32	Z 2276	金属材料の引張りラクセーション試験方法

廃止：3 規格

No.	JIS 番号	JIS 規格名称
33	G 1213	鉄及び鋼－マンガン定量方法
34	G 1224	鉄及び鋼－アルミニウム定量方法
35	G 1227	鉄及び鋼－ほう素定量方法

<資料 2（定期見直し調査票）対象 JIS>

No.	JIS 番号	JIS 規格名称
1	A 5526	H 形鋼ぐい
2	G 0551	鋼－結晶粒度の顕微鏡試験方法
3	G 0583	鋼管の自動渦電流探傷検査方法
4	G 0586	鋼管の自動漏えい（洩）磁束探傷検査方法
5	G 1201	鉄及び鋼－分析方法通則
6	G 1216-1	鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第 1 部：ジメチルグリオキシムニッケル重量法
7	G 1216-2	鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第 2 部：ジメチルグリオキシム沈殿分離エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム・亜鉛逆滴定法
8	G 1216-3	鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第 3 部：ジメチルグリオキシム吸光光度法
9	G 1232-1	鉄及び鋼－ジルコニウム定量方法－第 1 部：キシレノールオレンジ吸光光度法
10	G 1232-2	鉄及び鋼－ジルコニウム定量方法－第 2 部：ふっ化物共沈分離キシレノールオレンジ吸光光度法
11	G 1235-1	鉄及び鋼－アンチモン定量方法－第 1 部：塩化物抽出分離ローダミン B 吸光光度法
12	G 1235-2	鉄及び鋼－アンチモン定量方法－第 2 部：ブリリアントグリーン抽出分離吸光光度法
13	G 1258-0	鉄及び鋼－I C P 発光分光分析方法－第 0 部：一般事項
14	G 1258-4	鉄及び鋼－I C P 発光分光分析方法－第 4 部：ニオブ定量方法－硫酸りん酸分解法又は酸分解・二硫酸カリウム融解法
15	G 1258-5	鉄及び鋼－I C P 発光分光分析方法－第 5 部：ほう素定量方法－硫酸りん酸分解法
16	G 1258-6	鉄及び鋼－I C P 発光分光分析方法－第 6 部：ほう素定量方法－酸分解・炭酸ナトリウム融解法
17	G 1258-7	鉄及び鋼－I C P 発光分光分析方法－第 7 部：ほう素定量方法－ほう酸トリメチル蒸留分離法
18	G 1258-8	鉄及び鋼－I C P 発光分光分析方法－第 8 部：タングステン定量方法－硫酸りん酸分解法
19	G 3114	溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材
20	G 3115	圧力容器用鋼板
21	G 3124	中・常温圧力容器用高強度鋼鋼板
22	G 3126	低温圧力容器用炭素鋼鋼板
23	G 3127	低温圧力容器用ニッケル鋼鋼板

No.	JIS 番号	JIS 規格名称
24	G 3128	溶接構造用高降伏点鋼板
25	G 3136	建築構造用圧延鋼材
26	G 3141	冷間圧延鋼板及び鋼帯
27	G 3191	熱間圧延棒鋼及びバーインコイルの形状、寸法、質量及びその許容差
28	G 3199	鋼板、平鋼及び形鋼の厚さ方向特性
29	G 3303	ぶりき及びぶりき原板
30	G 3311	みがき特殊帯鋼
31	G 3315	ティンフリースチール
32	G 3350	一般構造用軽量形鋼
33	G 3429	高圧ガス容器用継目無鋼管
34	G 3459	配管用ステンレス鋼鋼管
35	G 3468	配管用溶接大径ステンレス鋼鋼管
36	G 3472	自動車構造用電気抵抗溶接炭素鋼鋼管
37	G 3473	シリンダチューブ用炭素鋼鋼管
38	G 3478	一般機械構造用炭素鋼鋼管
39	G 3479	焼入性を保証した機械構造用鋼管
40	G 3507-1	冷間圧造用炭素鋼—第 1 部：線材
41	G 3508-1	冷間圧造用ボロン鋼—第 1 部：線材
42	G 3509-1	冷間圧造用合金鋼—第 1 部：線材
43	G 4107	高温用合金鋼ボルト材
44	G 4108	特殊用途合金鋼ボルト用棒鋼
45	G 4110	高温圧力容器用高強度クロムモリブデン鋼及びクロムモリブデンバナジウム鋼鋼板
46	M 8202	鉄鉱石—分析方法通則
50	Z 2245	ロックウェル硬さ試験—試験方法
51	Z 2246	ショア硬さ試験—試験方法
52	Z 2247	エリクセン試験方法
53	Z 2254	薄板金属材料の塑性ひずみ比試験方法